



まちづくり市民会議

「太平洋セメント住吉社宅検討」部会 白井市長に提言書を提出

『セメント社宅活用保存会』（仮称）を設立し、費用の目途がついた時点で市の施設と位置づけ、"市民活動センター" 的な利用が望ましい」と提言

まちづくり市民会議「太平洋セメント住吉社宅検討」部会（瀬口孝典座長）が、11月30日に行った5回目の会合で、市内住吉本町2丁目にある太平洋セメント（株）所有の役員社宅の使用方法について、「築80年の古い建物ではあるが、改築修繕を行い、市民活動センター的なものとして有効活用する。そのために必要な経費は、財政困窮している市に頼らず、近く設立される保存会の活動に委ね、目途の立ったところで市の施設とする」という内容の提言を白井市長に提出しました。（次ページから掲載しています。）

新しく立ち上がる保存会には、市民会議のほとんどの委員が名を連ね、行政の手を借りずに、すべてを市民の手で一から作り上げていこうという今回の提言に沿った試みの中心的存在として引き続き支えていくことになります。

【問い合わせ先 広報広聴課 ☎82-1133】



▲実際に社宅を訪れ、建物の内部を視察する委員のみなさん。（10月15日）